



きわやか

第59号
平成22年10月発行

神奈川県高等学校体育連盟広報誌

全国大会を終えて



「青天届く君の風 みなぎる闘志が夏に輝く」

美ら島沖縄総体2010
総合開会式 神奈川県選手団
平成22年7月28日(水)
沖縄県総合運動公園陸上競技場

今年も全国各地で高校生トップアスリート達の熱き戦いが繰り広げられ、本県選手団もすばらしい成績を残してくれました。その熱き戦いの思い出を、2人の高校生に語っていただきました。

「全国大会を終えて」

全国高校総体(陸上競技)

優勝 女子200m・400m

県立荏田高校
3年 長谷川 美里



私は、中学時代から陸上部に所属し、主に100mに取り組んできました。そんな私が200mに取り組み始めたのは高校2年の県総体からでした。200mに取り組んだ理由は、スタートが苦手なためです。セパレートスタートやコーナー走の技術練習に励み、後半の強い自分には適していると思いました。2年次の全国総体では準決勝で敗れて

しましたが、練習の成果が徐々に表れて、10月の日本ユース選手権では優勝することができました。その時から、酒井先生と翌年の全国総体優勝を目指すことになりました。翌年の目標設定を決める中で、200mでの後半強化を考え、新たに400mへの挑戦も決めました。正直、不安もあったのですが、自分を試してみたいという気持ちもあり、決めました。

沖縄に出発する前日に、先輩方や仲間からミサンガやお守り、手紙を頂きました。この気持ちには競技で応えるという強い気持ちで沖縄に出発しました。400mも200mも、決勝に残れた時は嬉しさが大きく、優勝を意識するよりも気持ちよく走ることができました。決勝のスタートラインに笑顔で立てたのは、今まで応援してくれた人たちのおかげです。日々の練習で一緒に努力してきた仲間、卒業後もいつも気にかけてくれた先輩、温かく見守ってくれた両親、試合のときに雨の中走り回ってドロドロになりながらも一生懸命に付き添ってくれた親友、そして自分をここまで陸上大好きにさせてくれた酒井先生にとても感謝しています。

これからも感謝の気持ち・謙虚な気持ちを忘れずに努力していきたいと思います。



「全国大会を終えて」

全国高校定通(剣道)

優勝 女子団体

星槎国際高校横浜学習センター
3年 登内 香菜子
(写真1番左)

今回、全国高等学校定期制通信制剣道大会に出場し目標としていた優勝を達成する事ができました。神奈川女子チームは単独校でチームを組んで出場する事がないので、選抜チームで大会に出場しました。

私は星槎に入学する前は私立の全日制の高校で剣道をしていましたが、人数も少なく大会も個人戦にしか出場できない状態でした。星槎に転校し剣道を続けるとは考えていませんでしたが、先生の勧めもあり続けることになりました。しかし、試合に出場しても全然勝つことができませんでした。

私達は定期制・通信制の高校生であることから、メンバーは学校によって練習のできる環境が違います。

6月に全国大会への出場が決まりましたが、あまり練習も

できず、チームでの練習も限られた時間の中での練習でした。しかし、チームワークを高める為に練習をしてきました。

日本武道館で県を代表して試合ができる事は喜びと緊張とそして自分自身への期待が入り混じったものでした。私自身緊張もあったのか、個人戦では思うように体が動かず力を出し切れず結果を残す事ができませんでした。気持を切り替えて団体戦に臨みました。お互いを補い合い予選リーグを突破し、決勝トーナメントを勝ち上がり、決勝の舞台に立つことができました。決勝戦では緊張もありましたが、全員思い切った試合ができ、目標としていた優勝を達成することができました。

様々な環境の中で練習してきた選抜チームですが、一人ひとりが自分達のできる準備をし、気持ちを持って試合に臨み、チームワークで勝ちとることができた優勝です。

先生方や応援に駆けつけてくれた家族や仲間、多くの方々の声援と共に戦ったチームのメンバーのおかげで、この夏は私にとってかけがえのない夏にすることができました。多くの方々に支えられ優勝できた事に感謝し、今回の全国大会での経験を忘れずに、これからも大切にしていきたいと思います。ありがとうございました。

総合開会式に参加した選手たち



弓道男子（市桜丘、県川和、県厚木）



バスケットボール男子（県市ヶ尾）



弓道女子（鎌倉女子大高、県伊勢原、慶應藤沢）



バスケットボール女子（県茅ヶ崎北陵）



バスケットボール男子（法政二）



バスケットボール女子（県金沢総合）

安全対策委員会

委員長 桃木 祥（県瀬谷）

平成22年度赤十字救急員資格取得講習会報告

平成22年度高体連赤十字救急員資格取得講習会は、以下のように実施されました。

[日 時] 8月17日(火)、18日(水)、24日(火)
25日(水) 4日間 9:30~17:00
[会 場] 県立武道館（小道場・2階会議室）
[参 加 者] 19名（女性14名・男性5名）
[講習内容]

○ 1日目

【学科】
赤十字の活動について
救急法について
一次救命処置
【実技】
傷病者の観察
体位変化
保温
気道内異物除去
AEDを含む蘇生法
救急法基礎検定（学科・実技）
【学科】
赤十字救急法救急員について

○ 2日目

【学科】
急病
怪我
傷の手当て
搬送
【実技】
止血法
包帯法

○ 3日目

【学科】
骨折の手当て
救護
【実技】
固定法
搬送法
包帯法

○ 4日目

総合実技
検定（実技・学科）

〔講 師〕 赤十字救急法指導員
小泉 政貴・今井 英文・鈴木 佳光・
鷹野 克彦・柿沢 賢一・笹井 靖雄・
佐々木博美

今年は19名が受講されました。四日間の講習の後に受講された方々へ受講証が渡されました。

また、合格者には赤十字救急員の認定証が後日送付されております。

合格された方はつぎのとおりです。

平成22年度赤十字救急員資格取得講習会合格者

関東学院	1名	県横浜南陵	1名
清心女子	3名	県小田原	1名
横浜テザイン学院	1名	県新羽	1名
県二俣川看護福祉	1名	県麻生総合	1名
(教職員 10名)			

関東学院六浦	4名	県二俣川看護福祉	2名
清心女子	1名	県茅ヶ崎西浜	1名
県新羽	1名		

(加盟校生徒 9名)

救急員資格取得講習会に参加して
(受講者感想文より)

脇坂 文（関東学院六浦高校 3年 野球部マネージャー）

私がこの講習会に参加したいと思った理由はいくつかあります。

最初に、私は高校生活で3年間、野球部のマネージャーをしていました。部活中、ケガは小さいものから大きいものまでたくさんあり、夏には熱中症を起こす選手もいました。私はその度、どうしていいか分からず、あたふたしてしまい、適切な対処が出来ませんでした。マネージャーなのにどうすることも出来ない自分がいやで、「もっと適確な処置の仕方を知りたい。」と思い、この講習への参加を決めました。加えて、おととしの夏、私の祖父が心臓発作でトイレで倒れ、そのまま亡くなってしまいました。早朝だったので、私の父母もいましたが、みんな焦ってしまいました。私は怖くて、ただ119番に通報することしか出来ませんでした。私の父は、以前このような講習会を受けた経験があり、心肺蘇生法をして、私や母を、「大丈夫だからね。脈はふれているよ。」と落ち着かせてくれました。私はその時のことが忘れられず、次のようなことがあったら絶対に適確な処置をしたいと思いました。

4日間という期間でしたが、日常では学べないことがたくさん学ぶことが出来、とてもためになった講習でした。一人でも多くの人がこの講習を受けてくれるといいなと思いました。この経験をいかして、次に進みたいと思います。本当にありがとうございました。



「学科講習の様子」



「人形を使った心臓マッサージの練習」



「AEDを使った心肺蘇生法の講習風景」

横田 くるみ（県立二俣川看護福祉高校 2年 ダンス部）

今回の講習ではAEDを使用した心肺蘇生法や止血法、三角巾での処置などたくさんのこと教えていただきました。少し学校でやったことがあります、忘れている所や処置が不十分な所がたくさん見つかりました。しかし、指導員の方がわかりやすく教えてくださってとてもよかったです。

この他には、毛布を使った保温や傷病者の移動方法などを教えていただき、すごく身になりました。中でもチームでいろんな場所をけがしている傷病者を助けに行くという事をしましたが、私はその中のリーダーをやらせていただきました。実際に傷病者を前にすると頭が真っ白になってしまい、傷病者を不安にさせてしまったり、声かけができなかったりと反省する点がたくさんありました。やはり、傷病者の命を助けるために傷病者に声かけをし、勇気づけ、安心させてあげることと、チームワーク良くすばやく処置してあげなければいけないんだなと実際に体験してみて知ることができました。



「三角巾を使った頭部止血法を学ぶ講習生」

田辺 織絵（県立新羽高校 3年 パティシエ部）

私は以前にも心肺蘇生法、AED等の講習を受けたことがありました。それだけだったので今回の包帯法や固定法を学べて良かったなと思いました。以前の講習では更に知ろうという意欲がわきませんでしたが、今回の講習で他の救急法を学び更にこまかく深く学びたいと思いました。

この講習で何が重要か、何を優先するのか、何をすれば良いのか、何をするべきなのかわかりました。人の命を守ることの責任を知ることができました。今回学んだことは救急の場合だけでなく、日常のささいなのがなどにも対応できるようになったと思います。

指導員の先生方もとても良い方ばかりで、あまり気負いせずに受けることができました。ありがとうございました。

斎藤 蘭（関東学院六浦高校 2年 バドミントン部）

この赤十字救急員資格取得講習会に参加してみて、わたしは初めてのことばかりでした。AEDなどは、去年消防の講習会を受講したのですが、三角巾を使った傷口の手当や、固定や、副子を使っての固定は初めてだったのですが、最初はとても不安でしたが、一つ一つ細かく説明してくださいましたので、とてもわかりやすかったです。最終日に、災害時を想定してのシミュレーションがあつて傷病者の方が一つのけがではなく、いろいろなけがをしていました。わたしは、どこからどのように手当をしていいのか、まったくわかりませんでした。もし、本当に災害が起きてしまったとき、今日みたいに緊張して何もできなかつたら、傷病者の方に不安を与えてします。なので、もし災害が起こってしまった時はこの講習会の内容をよく思い出して、少しでも多くの傷病者の方の痛みを少なくできればいいなと思いました。

この講習会を受けて、とてもよかったです。



「4人組による副子を使った脚固定法の実習」

吉田 未璃（関東学院六浦高校 3年 野球部マネージャー）

私は高校生活三年間野球部のマネージャーを務めてきました。私の中でマネージャーとは選手の身の回りの世話をし、ケガをしたら手当をすればいい、野球が好きだからという最初は簡単な考え方でした。しかし、選手がいざ骨折やケガにあつてしまったら、自分がパニックになってしまい的確な処置も分からず、役に立つ事ができず、夏に熱中症を起こした選手がいても、そばにいるだけで何も出来ないままとうとう引退をしてしまいました。私はマネージャーとしての役割を果たせなかつた事に悔いが残っていたので、この講習を受けたいと思いました。

実際に講習を受けてケガの対処法や包帯の巻き方などくわしく指導してくださり、普段体験したことのないAEDの使い方など、とても学ぶ事がたくさんありました。今回の講習を通して私は一層興味を持ち、良い勉強となりました。これからももっと詳しく学んでいき色々な人達の役に立ちたいです。



「検定に向けて課題をこなしている講習生①」



「検定に向けて課題をこなしている講習生②」

田口 祥衣（県立茅ヶ崎西浜高校 1年 書道部）

指導員の皆さんありがとうございました。
今回私が受講を希望したのは、将来私は看護師になりたいと思っているので、将来の夢に少しでも近づけるような勉強をしたいと思ったからです。講習を通して、技術的なことだけでなく、傷病者の方の心のコントロールがとても大切なのだと強く感じました。

普段の学校生活では学ぶことのできないことをたくさん学ぶことができ、自分の将来にとっても役にたつと思っています。



「災害現場を想定した実践演習①」

松浦 飛鳥（清心女子高校）

部活動等で生徒が怪我をした時に、適切な処置ができるようになりたいという理由で講習会に申し込みました。初日、まず赤十字社について話を聞いた時、幅広い活動内容に驚きました。災害現場や献血で名前を知っている程度だったので、あらゆる場面で赤十字が人々の大きな助けになっているのだということを知り、感動を覚えました。人道、中立、独立の精神は平和な世の中を創る上で最も必要だと思います。自分自身、他人に思いやりを持つという気持ちを強くするとともに、生徒にもその心を伝えたいと思います。

学科でも重要な知識を沢山教えてもらいましたし、実技ではすぐに使える技術を教えてもらいました。本校にもロビーにAEDは設置されていますし、街中でもよく見かけます。しかし、機械はあってもそれを使える人がいなければ全く意味がありません。使い方を知らないまま手にしても、心理的に非常に高ぶっていると思います。講習を受けた今、私は自信を持って使うことができます。除細動を行う際、傷病者に触れていると感電死してしまうという事も初めて知りました。心臓マッサージと人工呼吸の回数も、十年前に自動車免許教習所で習ったものとは違い、最新の救助法を知ることができました。

あらゆる傷病者の状態に対する適切な処置の仕方を広く知ることができ、非常に価値のある四日間となりました。これで終わりにせず、今後の人生に活かせるよう努力したいと思います。



「災害現場を想定した実践演習②」

中井 麻里（県立小田原高校）

想定内ではありましたが、最高齢の我が身の程を初日から早くも思い知らされました。講習は、先生方のパワフルで熱意のこもったご指導の連続で、あれよあれよという間にどんどん進んでいきました。

傷病者的人権、心を尊重しつつ、生命と健康の維持に努める。言葉ではたやすいこの一文に、同じ人間としてかかわることの難しさとその責任の重さがどれだけ内包されていることか。先生方のお話を聞くにつれて、その重大性に痛感した4日間でした。救急法に知識と技術を習得し、いざという時に勇気と誠意をもって取り組んでいく。自分にできることから、人のために一步を踏み込む。社会の中で、教育現場という職場の中で、そんな心がまえをしっかりと、背中を押されたような熱いものを感じました。また、個人の研修というよりも、特に災害救護シミュレーションを通じて、協力者とチームとしての力を発揮することの重要性と現実の困難さも、身をもって体感できたのも、大きな収穫でした。

熱中症気味で、頭も体もフラフラで、最後までつらく、また仲間もできた楽しい経験でした。



「災害現場を想定した実践演習③」

井上 広明（清心女子高校）

私がこの講習に参加した理由は2つあります。1つ目は、職務上において求められている知識、技能であること。2つ目が、もし自分が一刻を争う現場に出くわしたらどうするかという事。

私は日常から、有事の際には何も出来ないということに気付いていました。しかし、日々に忙殺され、蓋をしていました。それでも一つの押さえられない気持ちがあつたのです。それは、「何も出来ない自分」が背負う一生の後悔という恐怖です。職域においても、私生活においても同様です。

今回、職場のすすめもあり、自分の心の恐怖を払拭したいという願いとともに参加させて頂きました。

今井先生はじめ、各先生方の非常に熱のこもった指導

によって、もっと努力しようという気持がみなぎってきました。日を増すごとに、0だった知識が1、2と少しずつ上積みされていく実感が湧いてきました。自己評価は10段階で5くらいですが、0と5では大違いです。補習を生かし、自己を研鑽して、自信を持って行動していきます。今後の人生において後悔しないように。どうもありがとうございました。



「実践演習において担架で傷病者を運び出す様子」

赤池 沙希（関東学院高校）

今回はじめて受講したのですが、とても勉強になりました。赤十字という言葉は知っていましたが、どのような活動をし、社会に貢献していたのかを詳しく知ることができ、今回参加したことで以前よりもさらに救急員やボランティアに興味が沸きました。

実際に救助の現場に立ち会ったら、慌ててしまうとは思いますが、少しでも今回の講習を生かして手助けが出来たら、と思います。

短期間で丁寧に教えてください、また、事故現場を想定した救助なども体験出来て、とても貴重なものとなりました。学校へ戻ってからはこの経験を無駄にしないよう、生徒たちへ救急法の大切さを伝えていきたいと思います。人の命を扱う大変な立場ですが、「助けてい」という誰もが持つ優しさを恥ずかしがらずに行動に移せるようにしていきたいです。暑い中、4日間ご指導くださいまして、ありがとうございました。



「4日間の講習を終え、みんなで記念写真」

【ご案内】

①平成22年度スポーツ医科学サポート事業「指導者研修会」

目的：スポーツ障害の予防やスポーツ医科学等について研修し、その理解を深め、さらに競技力の向上を図るとともに、指導者の資質の向上を目的とする。

内容：「シンスプリントの起こる原因と予防及びリハビリについて」

講師：脇元 幸一
(清泉クリニック整形外科スポーツ医学センター施設長)

開催期日：平成22年11月12日（金）

会場：県立スポーツ会館 2F 会議室

②平成22年度第45回神奈川県高校スポーツ強化普及振興協議会

開催趣旨：高校スポーツをより一層振興させるとともに競技力の向上を図り、健全な高校生の育成を目的として開催する。

内容：「高校スポーツ選手のための筋力トレーニングとコンディショニング」

講師：有賀 誠司
(東海大学スポーツ医科学研究所教授)

開催期日：平成22年12月19日（日）

会場：東海大学スポーツ教育センター

③平成22年度第45回全国高等学校体育連盟研究大会

趣旨：(財)全国高等学校体育連盟に加盟する各高等学校体育・スポーツ指導者の資質の向上を図るため、日頃の研究成果を発表するとともに、当面する諸問題について情報を交換し、高等学校教育の一環としての体育・スポーツの振興・発展に資する。

開催期日：平成23年1月13日（木）・14日（金）

会場：兵庫県立武道館

分科会発表テーマ

第一分科会
「競技力の向上」

第二分科会
「健康と安全」

第三分科会
「部活動の活性化」

詳細については、各校に送付してある要項、もしくは県高体連ホームページをご覧ください。積極的な参加をお待ちしております。

問い合わせ先
神奈川県高等学校体育連盟事務局
電話 045（311）8817
<http://www.kanagawa-kotairen.gr.jp>

平成22年度 全国高等学校総合体育大会（8位以上入賞者）

種 目		成 績			
		男 子		女 子	
陸上競技(7/29~8/2) 於：沖縄県総合運動公園陸上競技場	200m	7位 本間 圭祐 (市橋)	21"77	1位 長谷川美里 (荏田)	24"48
	400m			5位 中村 孝美 (秦野総合)	24"98
	800m			1位 長谷川美里 (荏田)	55"05
	100mH			8位 伊藤 美穂 (川和)	2'12"34
	400mH	4位 成瀬 元気 (相洋)	52"49	5位 相樂 成美 (桐蔭)	14"03
	4 × 100mR	3位 相洋	41"27	2位 大森 七瀬 (桐蔭)	1'00"51
				2位 相洋	47"01
	4 × 400mR	4位 市橋	41"28		
				5位 桐蔭	3'48"87
		1位 桐蔭	3'13"07	6位 相洋	3'48"92
		7位 相洋	3'15"26	7位 川和	3'49"22
		8位 萩田	3'17"42		
	砲丸投			7位 山内 愛 (城北工)	12m84
	円盤投			3位 河合 郁実 (弥栄)	42m14
	やり投	7位 海老原正樹 (桐蔭)	62m14		
	5000mW	5位 松井 拓矢 (横浜)	22'24"55		
水泳(8/17~20) 於：奥武山水泳プール	50m自	3位 内田 仁 (湘南工大)	23"58		
	100m自	2位 木村 匠吾 (慶応)	51"80		
		7位 佐藤 俊也 (湘南工大)	52"60		
	200m自	3位 矢野 貴寛 (湘南工大)	1'51"48	3位 瀧口 真帆 (湘南工大)	2'02"48
		6位 木村 匠吾 (慶応)	1'52"78		
	400m自	3位 瀧口 陽平 (湘南工大)	3'53"99		
	1500m自	1位 瀧口 陽平 (湘南工大)	15'16"37		
	100m背	4位 工藤 優介 (桐光)	56"95	1位 赤瀬紗也香 (川崎北)	1'01"19
		6位 矢澤 隼人 (市橋)	57"33		
	200m背	1位 矢澤 隼人 (市橋)	2'01"72	1位 赤瀬紗也香 (川崎北)	2'10"14
	100m平	3位 金子 翔磨 (逗子開成)	1'02"74	5位 金指 美紅 (日大藤沢)	1'09"87
		5位 上野 聖人 (法政二)	1'03"54	8位 渡邊 紗稀 (荏田)	1'11"27
	200m平	8位 相羽 光 (湘南工大)	2'19"05	7位 金指 美紅 (日大藤沢)	2'29"85
	100mバタフライ	4位 梅本 雅之 (慶応)	55"13	8位 斎藤 美緒 (日大藤沢)	1'01"53
		8位 森 雅和 (桐光)	55"82		
	200mバタフライ	6位 梅本 雅之 (慶応)	2'02"63		
	200m個人バタフライ	2位 内田 仁 (湘南工大)	2'02"55		
	400m個人バタフライ	6位 前田 時生 (桐蔭)	4728"56	6位 岩寄有加里 (湘南工大)	4'49"48
	400mR	1位 湘南工大	3'26"34	5位 湘南工大	3'52"23
	800mR	1位 湘南工大	7'29"11		
	400mバドレ-R	4位 湘南工大	3'49"29	5位 湘南工大	4'13"74
		7位 桐光	3'50"29		
	学校対抗	1位 湘南工大	78	7位 湘南工大	25
	飛板飛込	1位 坂井 丞 (渕野辺)	704.65		
	高飛込	1位 坂井 丞 (渕野辺)	684.90		
	学校対抗	1位 渕野辺	16		
バスケットボール(7/29~8/3) 於：沖縄市体育馆他				3位 金沢総合	
ソフトテニス(8/5~12) 於：沖縄県総合運動公園庭球場	団体	5位 東海相模			
サッカー(7/31~8/7) 於：うるま市与那城総合公園陸上競技場他		3位 桐光			
卓球(8/7~12) 於：宜野湾市立体育馆他	団体			5位 横浜隼人	
剣道(8/3~6) 於：21世紀の森体育馆	団体	5位 桐蔭		3位 佐野・小道野 (横浜隼人)	
柔道(8/8~12) 於：沖縄県立武道館	団体	2位 東海相模		5位 東海相模	
	100kg超級	1位 王子谷剛志 (東海相模)		3位 濱沼あかり (東海相模)	
	100kg級	3位 松雪 直斗 (東海相模)		5位 阿部 美洸 (桐蔭)	
	90kg級	3位 丸山 剛毅 (桐蔭)			
	73kg級	3位 菊地 秀 (桐蔭)			
	60kg級	1位 高藤 直寿 (東海相模)			
	52kg級			2位 山本 杏 (桐蔭)	
	48kg級			2位 白井 茜 (横須賀学)	
弓道(7/28~31) 於：沖縄県立武道館アリーナ	団体			4位 鎌倉女大	
テニス(7/29~8/6) 於：奥武山庭球場他	団体	3位 湘南工大			
シングルス	5位 近藤 大基 (湘南工大)				
ダブルス	5位 大塚・佐野 (湘南工大)				
ボクシング(7/28~8/3) 於：豊見城高校体育馆	ピン級	5位 武田 航 (横浜総合)			
	ライトフライ級	5位 井上 尚弥 (相模原青陵)			
	フライ級	1位 松本 亮 (横浜)			
	ライト級	2位 井上 浩樹 (相模原青陵)			
ヨット(8/6~10) 於：西原・与那原マリーナ	デュエット	6位 逗子開成			
フェンシング(7/28~8/1) 於：金武町立体育馆	学校対抗	5位 法政二			
自転車[トラック](7/28~8/1) 於：沖縄県総合運動公園自転車競技場	ホイントレース	5位 面手 利輝 (横浜)			
空手道(8/8~11) 於：浦添市民体育馆	団体組手	3位 劇学館		1位 光明学園	
	学校対抗	4位 劇学館		1位 光明学園	
カヌー(8/3~7) 於：漢那ダム特設カヌーコース	学校対抗	2位 修悠館			
	500mK-2	8位 山田・副島 (修悠館)			
	500mK-4	8位 山田・副島・吉元・山川 (修悠館)			
	500mC-1	4位 鳴崎惣一郎 (修悠館)			
	500mC-2	5位 清水・高橋 (修悠館)			
	500mC-4	1位 鳴崎惣一郎・清水・高橋・鶴嶋和 (修悠館)			
	200mK-1	7位 山田 大生 (修悠館)			
	200mK-2	7位 山田・副島 (修悠館)			
	200mC-1	5位 鳴崎惣一郎 (修悠館)			
	200mC-2	3位 清水・高橋 (修悠館)			
	200mC-4	3位 鳴崎惣一郎・清水・高橋・鶴嶋和 (修悠館)			

平成22年度 全国高等学校体育大会（8位以上入賞者）

種 目	成 績			
	男 子		女 子	
ライフル射撃(7/28~31) 於：つつがライフル射撃場	A R個人	3位 高木 章雄（磯子工）		4位 土田三友紀（高木女子）
少林寺拳法(7/30~8/1) 於：深谷市総合体育館（ピック・タートル）	二段以上の部			6位 稲垣・前田（有馬）

平成22年度 全国高等学校定時制通信制体育大会（8位以上入賞者）

種 目	成 績			
	男 子		女 子	
陸上競技(8/14~16) 於：国立競技場	100m 200m 400m 1500m 5000m 400mH	4位 岩佐 裕也（秀英） 2位 岩佐 裕也（秀英） 4位 奥谷 優樹（市橋定） 5位 檜木 孝彦（市高津定） 7位 藤谷 友貴（向陽台生蘭） 1位 川越 宏鷹（希望丘定） 4位 高橋 佑貴（湘南定）	11"59 23"41 53"85 4'33"43 17'49"25 58"08 1'05"20	8位 渡辺愛委美（希望丘定） 6位 渡辺愛委美（希望丘定） 5位 徳永絵里香（市戸塚定） 1m40
走高跳	3位 渡辺 大輝（希望丘定） 7位 鈴木 和麻（希望丘定）	1m88 1m75		
三段跳	5位 鈴木 和麻（希望丘定）	11m93		
砲丸投	5位 藤岡 達矢（市川商定）	11m27		
円盤投	7位 井上 豪（市高津定）	29m44	8位 岩田 愛（市川崎定） 23m00	
4×100mR 4×400mR	2位 神奈川県 1位 神奈川県	45"31 3'36"14		
トランク総合	1位 神奈川県	53		
フィールド総合	4位 神奈川県	17		
総合	1位 神奈川県	70		
男女総合	2位 神奈川県	79		
バレーボール(8/5~8) 於：ひらつかアリーナ他		3位 修悠館 5位 市川商定	3位 市高津定	
バスケットボール(7/28~31) 於：東京体育館			3位 横浜総合	
ソフトテニス(8/8~10) 於：有明テニスの森公園コート	団体 個人	1位 神奈川県 1位 児玉・益本（修悠館） 5位 中西・原田（修悠館）	5位 神奈川県 5位 澤野・松川（横浜総合） 〃 金山・辻（横浜総合）	
バドミントン(8/17~20) 於：小田原アリーナ	団体 個人	1位 神奈川県A 3位 神奈川県B 5位 佐藤新一郎（城北工定）		
サッカー(8/6~10) 於：清水総合運動場陸上競技場他		3位 秀英		
剣道(8/2) 於：日本武道館	団体 個人	1位 神奈川県A（修悠館） 2位 中村 遼（修悠館）	1位 神奈川県 3位 乗野 志歩（横浜総合）	
柔道(8/8) 於：講道館	団体 中量級 軽量級	3位 神奈川県 2位 下井 雄太（修悠館） 5位 行政 孝記（修悠館）		
自転車(7/31~8/2) 於：日本競輪学校他	3kmインディヴィデュアル・ペース・シュート 1kmタイムトライアル 4km速度競争 チームスプリント トランク総合	3位 桶田 優助（神総産定） 8位 大河原鉄郎（追浜定） 5位 鈴木 敬人（神総産定） 8位 安藤 文也（神総産定） 2位 福岡 直樹（神奈工定） 5位 磯野 凌太（神総産定） 6位 原 祐太郎（追浜定） 7位 廣川 直輝（平農初声） 8位 山中 駿（神奈工定） 2位 神総産定A 4位 追浜定 5位 神奈工定 6位 茅ヶ崎定 8位 神総産定B 3位 神総産定 6位 神奈工定		
ロード 於：日本サイクルスポーツセンター	チームロードレース ロード総合 トランク・ロード・総合	2位 神奈工定 3位 追浜定 5位 神総産定A 6位 平塚初声B 8位 平農初声A 2位 神奈工定 3位 追浜定 4位 神総産定 6位 平農初声 2位 神総産定 3位 神奈工定 6位 追浜定		